

教科シラバス(3年国語科)

教科名	国語	科目名	古典B	学年	3年(理系習熟)	単位数	2
教科書と副教材			新編古典B、学習課題ノート、国語便覧、 古典文法演習ドリル、漢文句法演習ドリル、古文単語330 古語辞典・漢和辞典(電子辞書可)				
1. 科目目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、 古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、副教材、ノート            古文:教科書、学習課題ノート、国語便覧、古典文法演習ドリル、古語辞典            漢文:教科書、学習課題ノート、国語便覧、漢文句法演習ドリル、漢和辞典</p> <p>(2) 予習の仕方について            古文は本文書写、漢文は白文書写、書き下し文をノートに書いてきましょう。古文単語の            意味調べや口語訳は宿題になりますので、前もって予習で取り組んでおいてもかまいません。</p> <p>(3) 授業の受け方について&lt;授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。&gt;            ア 授業に集中し、先生の説明事項を漏れなくノートに書き込みましょう。            イ 先生の発問に対して必ず自分で考えましょう。            ウ 登場人物の行動や心情を理解しながら口語訳が自分でできるようにしましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について            &lt;家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。&gt;            ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみよう。その際、古典文法や便覧を使っ            て授業で習った重要事項のノートに補足し、後で見直す時に授業内容が思い出せる            ようにおきましょう。            イ 宿題は、出された当日に必ず自分の力でやりましょう。            ウ 小テストや古文単語テストなどの準備は満点をとれるように勉強しましょう。            エ 副教材の問題集は、曜日を決めて計画的に行いましょう。</p> <p>(5) 質問の仕方について            分からないことは早めに担当の先生に尋ねましょう。授業時間内の質問でも、放課後等            でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等 によって行います。特に、課題の提出については、学習評価の必須条件です。従って期限 内未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。						
4. 学習 サポート	<p>(1) 毎日の授業後、必ず宿題が出ますので必ず家でやりましょう。</p> <p>(2) 小テスト・提出物はすべて得点化されて成績に入ります。期日を守って提出しましょう。</p>						